

ハイデルベルク信仰問答より

問 93 これらの戒めは、いくつに分けられていますか。

答え それは二つの板に、分けられています。第一の板は、四つの戒めの中で、私たちがどのように神と関係して生きるべきかを教えています。第二の板は、六つの戒めの中で、私たちが隣人にどのような義務を負っているか、ということをお教えています。

礼拝の中で十戒を唱和することの重要性を理解していながら、なかなかそれができていない現実があります。神学生時代に奉仕で遣わされていた教会では、毎週の礼拝プログラムの中に十戒が含まれていました。当教会でも、交読文を交読していた頃は、讃美歌末尾に載せられている十戒を唱和する機会が稀にありました。聖書の学びと祈りの集いの中で学んでいけることは幸いだと感じています。

問 93 では、「十のことば」が内容的に分類されていることを理解できるよう導かれています。答えの中に「**二つの板**」という表現が出てきます。私たちが手にしている聖書では一連の戒めがズラリと並べられているのでイメージしにくいですが、元々モーセがシナイ山で神様から受け取った「証の板」は二枚あったところから、このような言い方がされているのでしょう。

モーセはそこに、四十日四十夜主と共にいて、パンも食わず、水も飲まなかった。彼は、板の上に契約の言葉、十の言葉を書き記した。モーセはシナイ山から下りた。山を下りるとき、彼は二枚の証しの板を手にしていた。モーセは、主と語るうちに彼の顔の肌が光を帯びていたことを知らなかった。

(出 34:28-29)

本問答書では、この二枚の板に大きく二つに分けられた内容のことばが書かれていたと解釈しているのです。

第一の板：

第一戒～第四戒

主なる神と私たちとの関係

第二の板：

第五戒～第十戒

主なる神の御前における私と他者との関係

十戒が律法の全体を集約しているとするならば、その数多の教えは「如何に神を愛するか」「如何に隣人を愛するか」という二つの視点をもって解釈すると整理できてくることになります。これは、主イエスが律法学者にお答えになった「一番大事な戒め」ともピッタリと一致しています。

イエスは言われた。『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』(マタイ 22:37-19)